



高校生とニホンウナギ 有明海域の未来を拓く

本書は、高校生が挑む
ニホンウナギ研究と環境再生の記録です。

地球はいま、大きな岐路に立っています。

未来を守るために、私たちになにができるのでしょうか。本書は、有明海域を舞台に、絶滅の危機

にあるニホンウナギと向き合いながら地球の未来を考える高校生たちの挑戦の記録です。

すべての生命は海から生まれました。命の母である海の環境は、森や里の営みと深く結びついています。海を守るには海だけを見ても解決できないのです。海に生まれ、川をのぼり、森に育まれ、再び海へ帰るニホンウナギは、まさに「森・里・海」をつなぐ象徴的な存在です。若い世代の探究と行動を通して、地域の自然と地球環境の未来を見つめ直す一冊。新しい視点と希望をいっしょに探ってみましょう。

目次・執筆者

まえがき

ウナギとともに生きる生物調査 石倉カゴと環境 DNA を用いて

長崎県立諫早高等学校 科学部副顧問 十時実穂

ウナギの絶滅を回避する高校生の挑戦 健全な森林土壌を再生し水循環を取りもどす取組

福岡県立山門高等学校 Oneヘルスクラブ顧問 木庭慎治

ぼくのウナギ研究 耳石を調べる

福岡県立福岡中央高等学校 野口峻司

熊本県水俣市の人工水路における未利用資源を活用したウナギ保全活動

熊本県立水俣高等学校 大澤風季

海の草原アマモ場の再生への長期的取組 アマモ場再生 23年の実践

熊本県立芦北高等学校 林業科 アマモ場再生研究班 担当教諭 前島和也

コラム 1 有明海は不思議な生き物がすむ宝の海

長崎県立佐世保北高等学校 教諭 碓井利明

コラム 2 ウナギと歩んで

国立研究開発法人水産研究・教育機構研究員 ウナギスト 高崎竜太郎

コラム 3 川ガキ・海ガキは、いまどこに？

国立環境研究所 生物多様性領域 生態系機能評価研究室 主幹研究員 亀山 哲

コラム 4 ウナギと子どもが触れあう野尻湖畔へ

京都大学名誉教授 森里海を結ぶフォーラム代表 田中 克

あとがき

地方小出版流通センター取扱い品です。ご注文は **FAX03-3235-6182** までお願いいたします。

▶すべての取次への出荷が可能です。注文制です。返品のないようお願いいたします。

注文書	書店印	注文数	高校生とニホンウナギ 田中 克 碓井利明 編 亀山 哲 有明海域の未来を拓く
	ISBN978-4-908869-32-7 C0045 A5並製 104ページ 定価1320円(本体1200円+税)		
	〒 889-1072 宮崎県宮崎市田野町乙 7484 TEL0985-74-5757 FAX0985-68-3669		